

議 事 録

公開・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
部長	課長	水道係長	下水道係長	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
				作成日	令和6年10月1日（火）
		業務係長	業務係員		記録者所属 上下水道課 業務係 職・氏名 係長・中邨 大輔
＊ ＊	＊ ＊				

会議等の名称	東御市上下水道事業運営審議会	開催日時	令和 6 年 9 月 27 日（金） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
		場 所	勤労者会館 2 階大会議室
主催者（事務局）	都市整備部 上下水道課 業務係	司会者	審議会会長 山邊吉憲 上下水道課長 武田英俊
出席者	委員 12 名 西山福恵、斉藤哲、瀬田智之、堀育夫、関昌子、清水千枝、重田行子、 白倉淳、宮下清行、真田賢一郎、山邊吉憲、田口恒敏		
	市長 花岡利夫		
	事務局 7 名 山邊修、武田英俊、中山尉織、中邨大輔、久保隆佑、篠塚久嗣、櫻井皓太		
欠席者	委員 2 名 井出史亮、成山喜枝		

会議事項	(審議事項)	(配布資料) 別添のとおり
	(1)東御市水道事業経営戦略の改定について【諮問】	
	(報告事項)	
	(1)水道事業について	
	(2)下水道事業について	
	(3)上下水道事業決算について	
	(4)下水道事業経営戦略の事後検証について	
決定事項	水道事業経営戦略の改定については、審議委員のご意見を踏まえて、修正等を行い、次回開催時に答申をいただくこととする。	
次回への検討事項		
次回開催	令和7年3月7日（金）	

様式第 4 号（第 21 条関係）

討議	（発言者名）	（発言内容）
内容及び経過		
1 開会	上下水道課長	出席者状況報告（12 名出席、2 名欠席うち 2 名から委任状提出）
	会長職務代理	（開会の言葉）
2 会長あいさつ	会長	（会長あいさつ）
3 市長あいさつ	市長	（市長あいさつ）
4 審議事項		花岡市長から山邊会長へ諮問書を手渡す。
(1) 東御市水道		（市長退席）
事業経営戦略の		
改定について【諮問】	事務局	（東御市水道事業経営戦略概要版で説明）
	委員	人口が減少する中で、いわゆる「限界集落」の問題があります。今後、施設が老朽化していく中で、東御市において、この集落は維持できませんよ、危ういよと危惧される状況はあるのでしょうか。
	事務局	東御市は多くの水源をもっており、それらは山間部の人口の少ない地域にあります。したがって、現状、管が布設されている場所につきましては、この先も給水が難しくなることはないと考えています。
	委員	施設については、今まで人口が増えるという前提で造っていると思いますが、今後の施設の取り扱いについてはどのように考えていますでしょうか。
	事務局	令和 4 年度に策定した水道事業基本計画では、人口が減少していくという前提で、経営面を含めて、施設の更新等について計画を策定しています。
	委員	施設の稼働率が落ちていくと思いますが、その辺の考えを教えてください。

様式第4号（第21条関係）

討議	（発言者名）	（発言内容）
	事務局	今後の施設更新時には、施設の稼働率を考えて更新等を検討していく予定 定です。
	委員	内部留保資金が増えている理由を教えてください。
		また、利益剰余金の積立金がいくらあるか教えてください。
	事務局	内部留保資金が増えている理由としましては、現在は、これまでに投資 した資産の将来の更新需要のために留保している時期のためです。
		令和5年度決算では、減債積立金が約1億1,000万円、建設改良積立金 が約20万円あります。
	委員	現在の経営戦略は、平成31年3月に策定して、5年経過したため見直 すということであるが、国から令和7年度までに改定しなさいと通知が 来たから改定するのではないのか？
		そうでないとすれば、どんな問題があって改定するのか。
	事務局	現在の経営戦略は、策定から5年が経過しており、策定当時から事業 環境が変化していますので、改定にはそれらの状況を反映させていま す。
		また、改定する経営戦略には、毎年度の取組状況を確認するための経営 目標値を新たに設定します。
	委員	報告を聞いている限りでは、今までどおりで問題ないと思う。また、素 案からは、どういったことを頑張っていくのかというのが分からなかつ た。ただ審議委員会を通して形だけやっているという風に見えるのだ が、そんなことはないですね。
	事務局	現在の経営戦略から施設の更新計画を見直しており、それらを行ってい くための経営的なシミュレーションについても、現在の事業環境を反映 して行っており、改定することを目的としているわけではありません。

討議	（発言者名）	（発言内容）
	委員	市のホームページにある水道事業経営戦略を見ると、「経営戦略の実施
		状況については、収支計画の事後検証、進捗状況の反映などを目的とし
		て、中間年次に見直しを予定していきますが、計画と実績との乖離が著
		しい場合には、その都度検証します。」とある。
		中間年次に見直すとしても、検証は毎年、行うべきだと思う。
	事務局	今後は、経営目標値を基に毎年、検証を行っていく予定です。
	委員	基本方針の中に「強靱な水道施設の構築」とある。
		能登の地震、今回の豪雨など、東御市の場合の復旧等の体制はどうなっ
		ているか。
		また、耐震化とはどういうことか。
	事務局	日本水道協会と災害協定を結んでおり、全国規模で協力体制をとってお
		り、県単位でも長野県水道協議会と協定を結んでおります。
		身近なところだと、上田市、小諸市と協力体制をとっております。そ
		の 2 市とは、水道管も繋がっており、有事の際には水の供給を受けるこ
		ともできます。
		また、包括的民間業務の受託者とも協定を結んでおり、支援を受けられ
		ます。
		続いて耐震化についてです。
		まず管路についてですが、東御市は地盤強度が高く、南海トラフ地震の
		想定震度は 6 弱とされている中で、旧東部町側につきましては、震度 6
		弱に耐えられるダクタイル鋳鉄管・適合管といわれるものが布設されて
		おります。
		旧北御牧村地区の八重原につきましては、塩ビ管のため今後の更新で適
	会長	その他に意見等がある場合には、お手元に配られた意見書に書いて、

討議	(発言者名)	(発言内容)
5 報告事項 (1) 水道事業について (2) 下水道事業について (3) 上下水道事業決算について (4) 下水道事業経営戦略の事後検証について		10 月 11 日までに事務局に提出するようお願いします。
		(報告事項は一括説明)
		(資料 1 で説明)
		(資料 2、3 で説明)
		(資料 4－1、4－2 で説明)
		(資料 5 で説明)
	委員	西宮の方から雨が降るたび、ずっと何年も水が濁っていたんだという話を聞きました。
		他にも濁っているけど、何年も言えない地区がある可能性があると思いますが、そういったものの確認や検証はされていますでしょうか。
	事務局	水質検査は毎月実施していますが、濁りのようなものについては市民の皆様からの情報によるものとなってしまいます。
		西宮に関しましては、今、水を使うための試験と認可の取得をしているところで、水が使えるようになるのは、それらが終わってからとなります。
		その他に現在確認している濁りにつきましては、上八重原の水源があり、現在、対策を進めています。
	委員	我慢していた人たちがいたということは事実で、周りも同じかな、自分
		だけかなと、なかなか電話はかけられないことがあると思います。市の
		HP に直ぐにはどうこうできないんだけど、「水が濁っていたら」、「こう
		なっていたら」市に連絡くださいとアピールだけはしていただきたいと
		思います。

様式第 4 号（第 21 条関係）

討議	（発言者名）	（発言内容）
	事務局	方法を検討して実施していきたいと思います。
	委員	下水道工事に伴う舗装復旧が凸凹していて良くないので、気を付けて復旧してもらいたい。
	事務局	舗装復旧後に凸凹してしまう箇所があると思うので、状況を確認したところは直していきたいと思います。
	委員	有機フッ素化合物について東御市の状況を教えてください。
	事務局	昨年度から、今年度にかけて検査を実施しており、基準値の 50ng/L 以下であることを確認しています。
	委員	下水道の統廃合事業で使われなくなった施設は、どのように利用していくのか教えて欲しい。
	事務局	防災備蓄庫として利用しています。
	委員	水道事業決算の資本金的収入が支出に不足する額の補てん財源について教えてください。
	事務局	不足する財源は、損益勘定留保資金と減債積立金で補てんしています。なお、補てん後の損益勘定留保資金の残高については、前年度末より増加しています。
	委員（意見）	西宮の新水源の土地の話などは森林組合から聞いた。どうして区民に説明をしてくれないのか。私たちは、水は水質検査をすれば直ぐに使えるものと思っていた。色々な状況について、区民に説明をして欲しい。
	委員	下水道の統廃合事業で使われなくなった施設の利用については、国の補助金あり気で考えるのではなく、市全体の活性化を考えて、施設の利活

様式第 4 号（第 21 条関係）

討議	（発言者名）	（発言内容）
		用を検討して欲しい。
	事務局	先ほど防災備蓄庫として利用しているのご説明申し上げましたのは、現在は防災備蓄庫として利用しており、国へ報告をしたということで、補助金があったからという話ではありません。
		市全体で、今後、他に良い利活用方法があれば検討していきたいと考えております。
	委員	防災対策の状況に「給水車 1 台を保有」とありますが、災害対策として今後増やしていくことはありますでしょうか。
		「拠点となる配水池に可動式発電機を設置」とありますが、これは非常時にポンプを動かすものでしょうか。
	事務局	給水車 1 台という数値は、近隣の上田市や小諸市と比べて多くもなく、少なくもない台数で、増やす予定はありません。近隣市町村や民間企業と連携して対応していくことを考えておりますので、ご理解いただければと思います。
		可動式発電機は、災害時の給水拠点となっている新屋、西入、八重原の配水池に配備しています。有事には、それらの給水拠点の井戸から水を汲み上げて水を供給するようになっています。
	事務局	次回会議の開催予定、会議報酬等について説明
6 その他		
7 閉会	会長職務代理	閉会の言葉